Ⅰ　調査概要

１．１　調査の目的

県下全域の県民意識の把握とともに、県行政に対する県民の関心、満足度等を調査し、県政推進の基礎資料とする。

１．２　調査の経緯

昭和４２年から実施、今回４９回目

※昭和 42 年～昭和 61 年：毎年実施　　昭和 63 年～平成 18 年：隔年実施　平成 20 年～：毎年実施

１．３　調査項目

（１）くらしについて
（２）県の取組み全般について

１．４　調査の設計

（１）調査地域　　岐阜県全域
（２）調査対象　　県内に居住する満１８歳以上の男女個人
（３）標本数　　３，０００人
（４）抽出方法　　層化二段無作為抽出法
（５）調査方法　　郵送法・オンライン調査法の併用
（６）調査時期　　令和８年７月１日～７月２４日
（７）調査実施機関　　株式会社中部タイム・エージェント

１．５　回収結果

	調査時期	標本数 （A）	回収数 （B）	有効回答数 （C）	回収率 （B／A）	有効回答率 （C／A）	有効回答数のうちオンライン回答数・割合
第４９回 （令和８年度）	令和８年 ７月	3,000	1,767	1,766	５８．９%	５８．９%	６６１ ３７．４%
第４８回 （令和７年度）	令和７年 ６月～７月	3,000	1,644	1,644	５４．８%	５４．８%	６１７ ３７．５%
第４７回 （令和６年度）	令和６年 ７月	3,000	1,699	1,699	５６．６%	５６．６%	４５８ ２７．０%

１．６　標本誤差

調査結果には統計上多少の誤差が生じることがあるため、調査結果をみる場合、一定の幅を持たせてみる必要がある。その幅を標本誤差といい、以下の式で表される。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96\sqrt{\frac{P\,(100-P)}{n}}$$　　（ただし、P：回答比率　n：回答者数）

すなわち、標本誤差の幅は①回答者数（n）及び②回答比率（P）によって異なる。上式を用いた各回答者数、回答比率における標本誤差を以下の表に示す。

		P（回答比率　%）									
n（回答者数　人）		5 又は 95	10 又は 90	15 又は 85	20 又は 80	25 又は 75	30 又は 70	35 又は 65	40 又は 60	45 又は 55	50
総数	1,766	1.0	1.4	1.7	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.3	2.3

（注）1. 層化を行った場合、誤差は上表より若干増減することもある。
2. この表の見方は以下のとおりである。
「ある設問の回答者数が 1,766 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.3%である。」

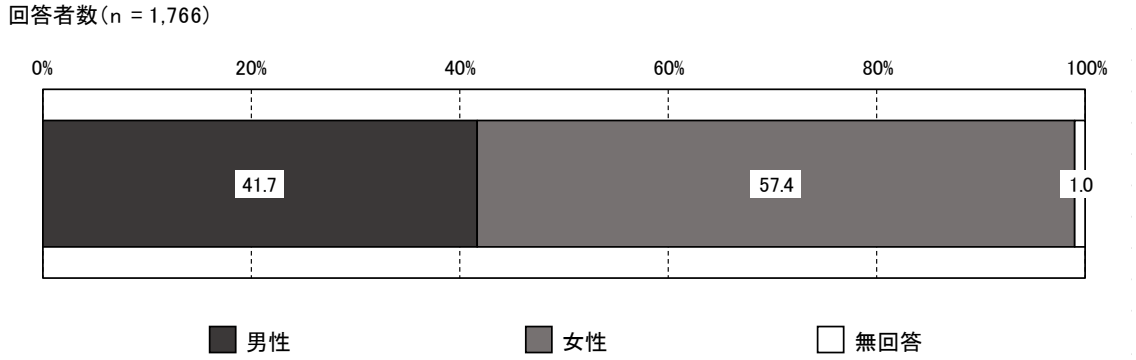
１．７　報告書の見方

（１）比率は全てパーセントで表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合がある。
（２）基数となるべき実数は「n」（件数）として掲載した。したがって比率は、n を 100%として算出している。
（３）複数回答が可能な設問では総回答数を「N」として掲載した。その場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常 100%を超える。
（４）本報告書中の表、グラフ及び本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合がある。

１．８　対象者の属性

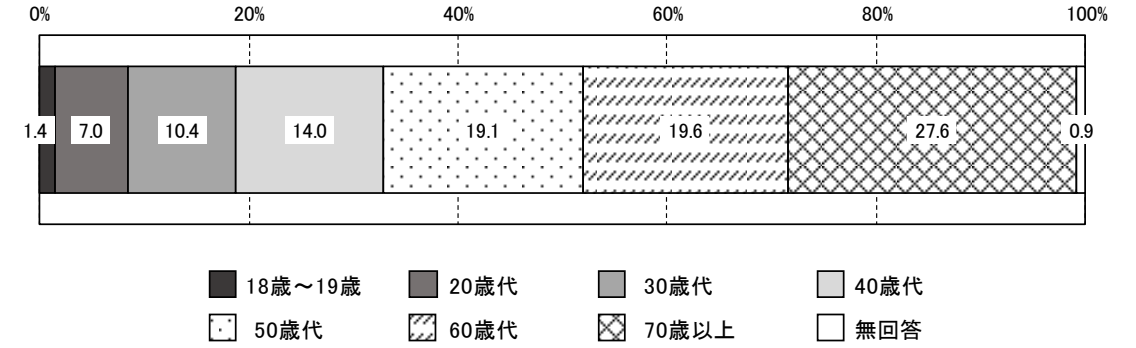
Ｆ－１　性別

図 F-1 性別



Ｆ－２　年代

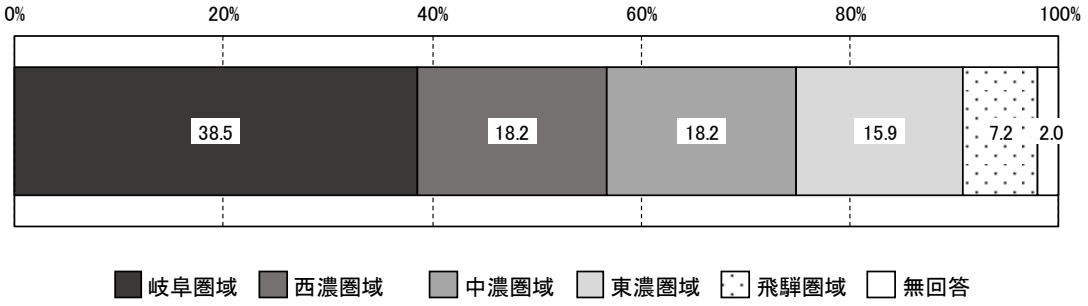
図 F-2 年代



Ｆ－３　居住圏域（５分類）

図 F-3 居住圏域（5分類）

回答者数（n = 1,766）

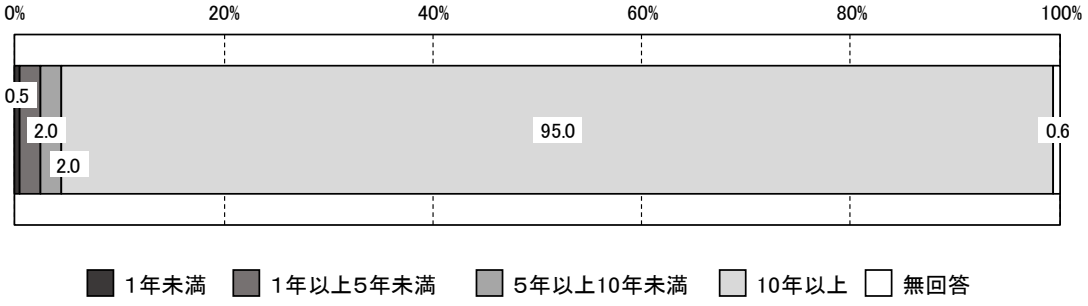


岐阜圏域（岐阜市・羽島市・各務原市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町）
西濃圏域（大垣市・海津市・養老町・垂井町・関ケ原町・神戸町・輪之内町・安八町・揖斐川町・大野町・池田町）
中濃圏域（関市・美濃市・美濃加茂市・可児市・郡上市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町）
東濃圏域（多治見市・中津川市・瑞浪市・恵那市・土岐市）
飛騨圏域（高山市・飛騨市・下呂市・白川村）

Ｆ－４　居住年数

図 F-4 居住年数

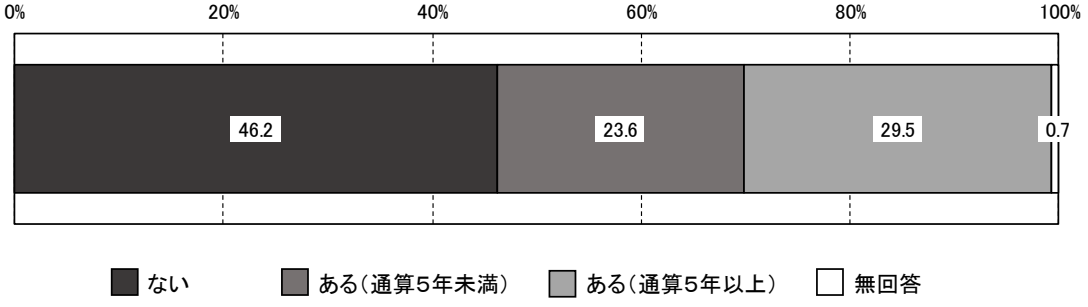
回答者数（n = 1,766）



Ｆ－５　県外居住経験の有無

図 F-5 県外居住経験の有無

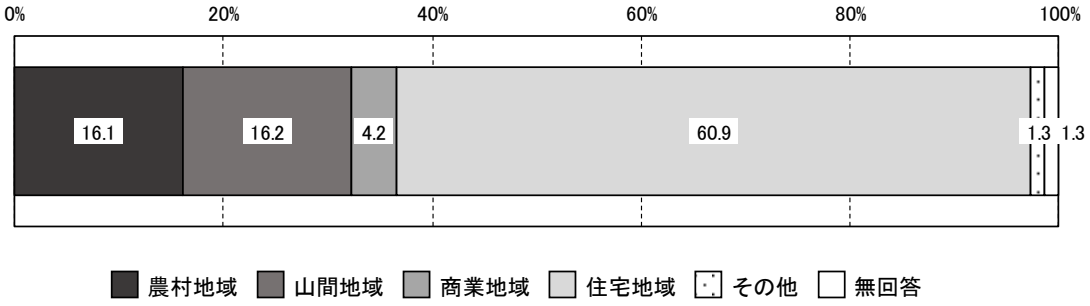
回答者数（n = 1,766）



Ｆ－６　居住地周囲の環境

図 F-6 居住地周囲の環境

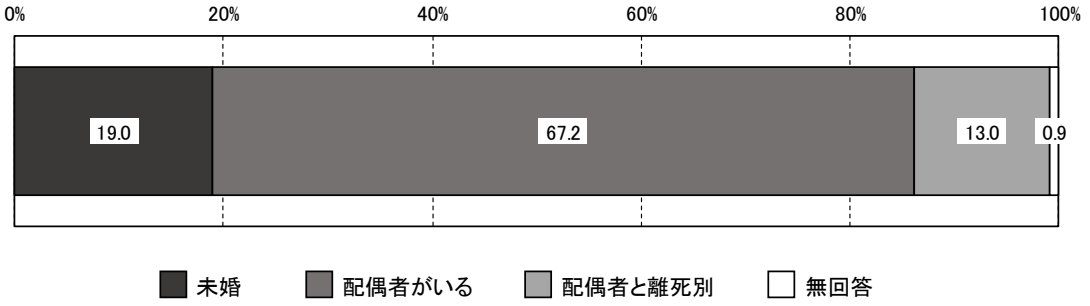
回答者数（n = 1,766）



Ｆ－７　配偶者の有無

図 F-7 配偶者の有無

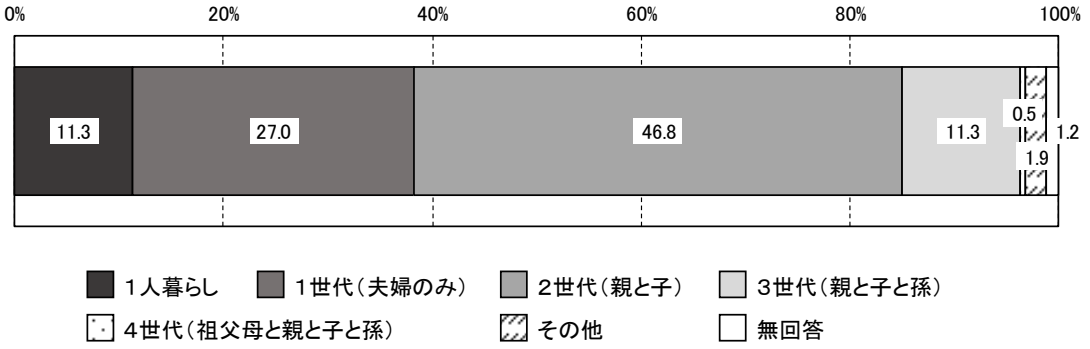
回答者数（n = 1,766）



Ｆ－８　家族形態

図 F-8 家族形態

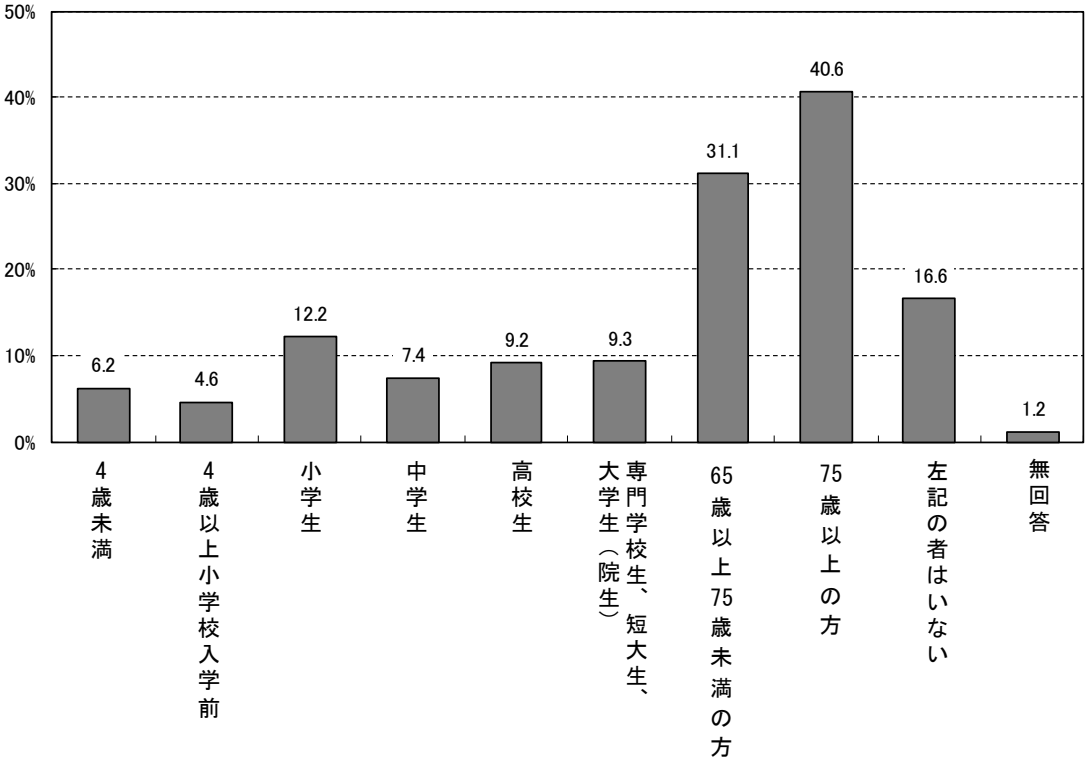
回答者数（n = 1,766）



Ｆ－９　家族構成

図 F-9 家族構成

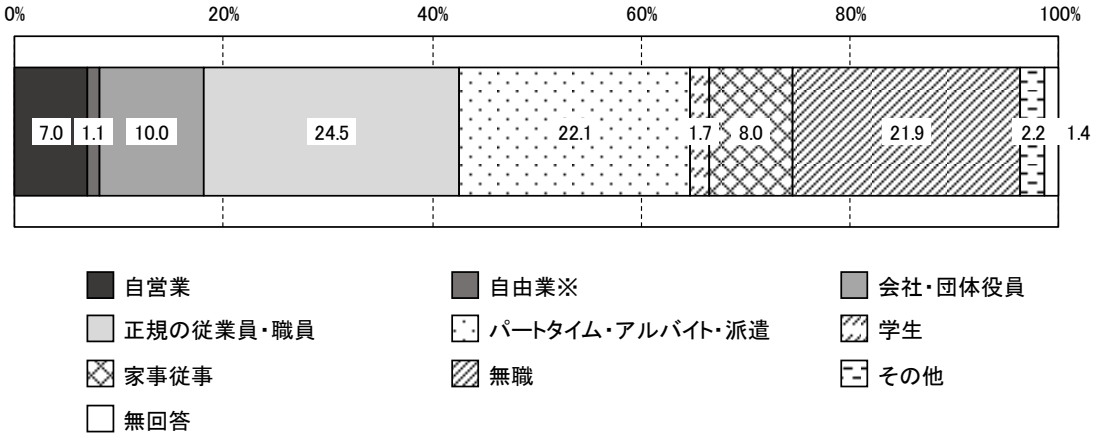
回答者数（n = 1,766）
総回答数（N = 2,446）



Ｆ－１０　職業

図 F-10 職業

回答者数（n = 1,766）

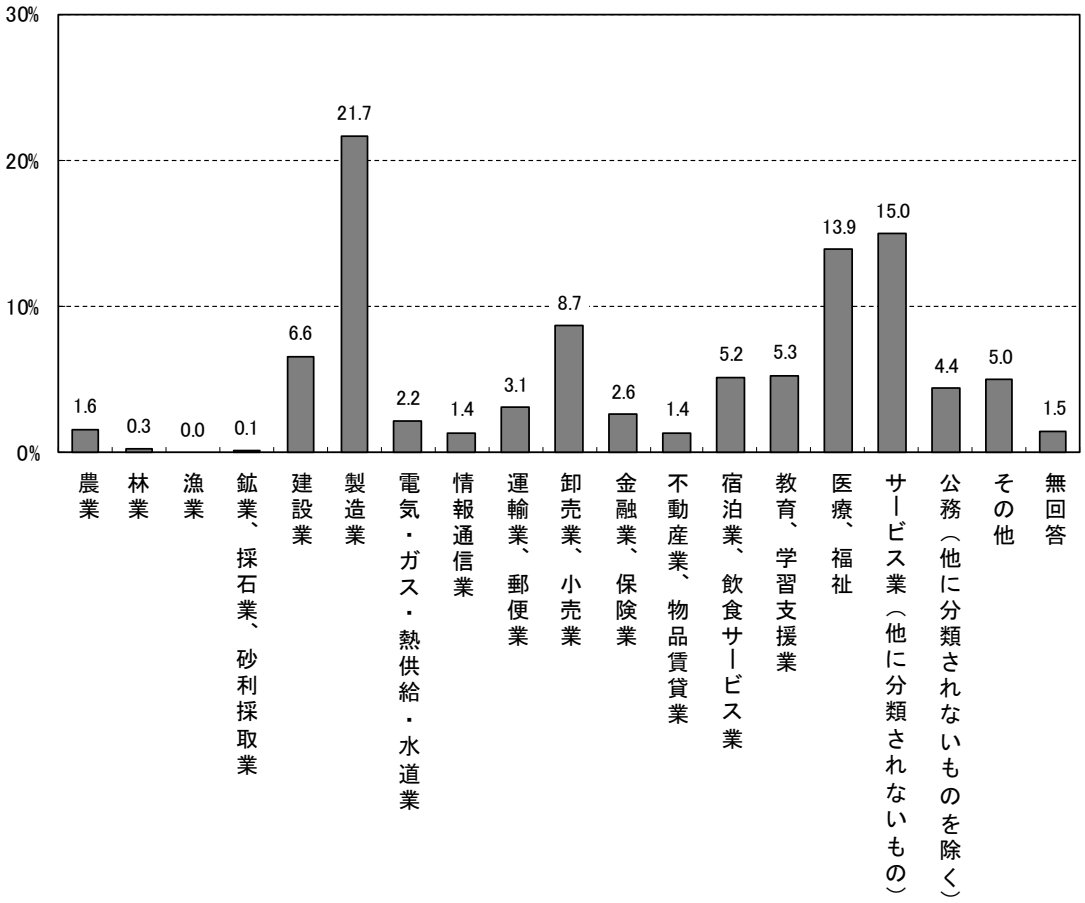


※　自由業：一定の雇用関係によらず、勤務時間その他の制約を受けない職業で、作家、弁護士、医師、会計士、税理士、芸術家など

Ｆ－１１　業種

図 F－11　業種

回答者数（n = 1,143）※

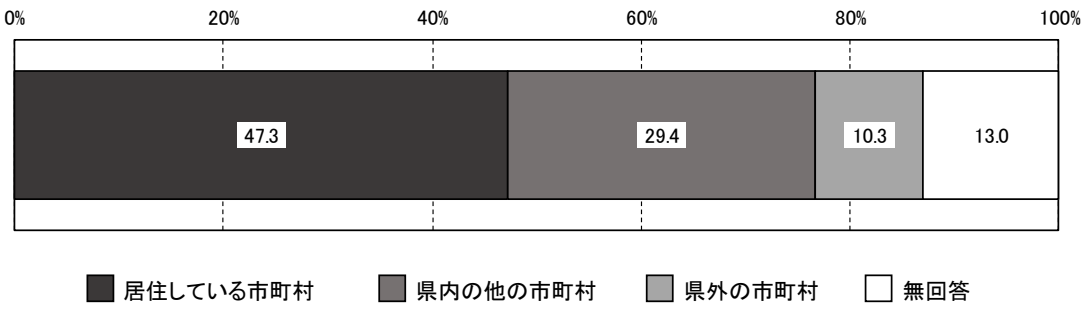


※「F-10　職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣と答えた方のみ

Ｆ－１２　通勤、通学先

図 F-12　通勤、通学先

回答者数（n = 1,173）※



※「F-10　職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣、学生と答えた方のみ